

## 児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表 2024年4月30日  
事業所名 SEIKO PLUS 富里

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		・プログラム等、グループ分けをして、集団、小集団の活動に分けることで利用者が過ごしやすい様に工夫をしている	
	②	職員の配置数は適切である	2	2	・指定基準に沿った職員配置で行っている。	・職員に対する指定基準配置等の情報の開示と新任職員に対しての基準配置等の基礎的な研修を今後検討していこうと考える。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4		・利用時の流れやスケジュール等、数字や色等で提示して配慮している。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3	1	・毎日の清掃や定期的な全体清掃を行っている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3	1	・朝礼や会議等では実施したり、都度職員から上がった事案を検討を行っている。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	1		・今回が初めての評価となる為、公開と共に職員への周知、改善を検討を進めていく。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		4		・今回が初めての評価となるが公表をする。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		4		・今後第三者委員会等に依頼を行っていくことを検討中
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		・定期的に施設内にて研修を実施している。また外部研修の機会を設けている。	・施設内における研修だけでなく地域社会に役立つ研修等を受講等を検討中。
適切	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4			
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1		

な 支 援 の 提 供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4		・個別支援計画に明記をして保護者様に同意を得ている。共に職員にも見える化を図り、支援内容が常に共有できるよう設定している。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4		・上記同様に職員が常に支援計画が把握出来るように見えるかを図っている。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	4		・利用者様の発達に合わせて検討を行っている。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		・各プログラムにて1週間毎に内容の変更を行っている。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	4		・一人ひとりの特性等を踏まえて個別、小集団、集団の3段階で支援出来るように設定している。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	1	・当日のワークスケジュールを事前に作成し、役割分担等を見える化して掲示している。	・朝礼等で打ち合わせを行っている。他業務(送迎等)にて全員参加が難しい際は昼礼等の打ち合わせの機会を増やす事を検討。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	2	・職員間ではおこなうことが出来ている。	・全員参加での終礼等を行うことを今後検討。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		・サービス提供記録、経過記録を都度記録している。	
	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4		・定期的に実施している。その際職員からの意見を招集している。	
	関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2	2	
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	1		・現在関係機関として医療機関や放課後児童クラブ等との連携を検討中。
㉓		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2	2		・現在医療ケアの必要な利用者様は在籍していないがご利用する希望する気があれば検討する。
㉔		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	3		・現在医療ケアの必要な利用者様は在籍していないがご利用する希望する気があれば検討する。

機 関 や 保 護 者 と の 連 携	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	1	・対面にて保育園等と情報共有等月1を目標に行っている。	・今後はより小学校や特別支援学校等と情報共有を行っていくことを検討中。
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	1	・保護者様のご要望の上、小学校と情報共有や相談援助を行って	・積極的に保護者様へご提案させていただいて、情報共有を行っていくことを検討中。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	2		・機会をいただければ積極的に研修等に参加したいと考えている。
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	2		・今後機会があれば交流の場を設けるよう検討中。
	②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	3		・機会があれば参加を検討したい。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		・利用の際に10～15分程、支援時の様子や課題等を保護者様と利用者様と実際の支援の様子を見せながらフィードバックを行っている。	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	4		・上記同様に支援の様子や指導方法等を相談援助を行いながらフィードバックを実施している。	
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		・契約時等、受給者証等の書類と共にご説明している。	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4		・個別支援計画の中に発達支援(五領域)入れてご説明している。	
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		・月一で面談(家庭支援)を行い、相談援助を行っている。	
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	1	・昨年12月に父母交流会を開催している。	・保護者同士の場を増やしていきたいよう今後も開催を検討中。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4			
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	2		・現在提供方法を変更している為、今後は発信していく予定。
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意している	4			

	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4		・地域参加の機会があれば積極的に参加していくことを検討中。
緊急時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	1	・年に2回以上訓練を行っている。	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4			
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	2	2	・個人の台帳に服薬等の情報を保護者様に記載してもらっている。	・職員へ情報を開示するように方法を検討。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		4	・個人の台帳に服薬等の情報を保護者様に記載してもらっている。	・職員へ情報を開示するように方法を検討。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4			
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4			